

# ごあいさつ

Kirayaka Holdings

皆さまには、平素よりきらやか銀行をはじめきらやかフィナンシャルグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当グループおよび当社の平成19年度の業績の概要をまとめましたディスクロージャー誌を作成いたしました。当グループについての皆さまのご理解に役立てていただければ幸いです。

さて、今般、当社ときらやか銀行は平成20年10月1日を目処に合併することを決定いたしました。今後は、更なる経営の迅速化と効率化を図り、『心の通うベストコンサルティングバンク』の実現に向け、グループ総力を挙げ邁進する所存でございます。

皆さま方には、引き続き変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年7月

株式会社きらやかホールディングス

代表取締役社長 **栗野 学**



## 頭取メッセージ

Kirayaka Bank

はじめまして、きらやか銀行頭取の栗野学でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、ふるさと山形が大好きです。

山形をもっと輝かせたい  
山形をもっと元気にしたい  
もっと山形のお役に立ちたい

こうした『きらやかな国 山形』への願いを実現するため、弛まぬ努力とスピードある行動で皆さまの信頼にお応えする、これが私の決意であります。

山形をもっと  
輝かせたい



期待と信頼に  
応える銀行

当行は、昨年5月7日、きらやか銀行として新しいスタートを切ることができました。これもひとえにお取引先の皆さま、株主の皆さまのご理解とご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、この一年はきらやか銀行として態勢整備の一年であったと考えております。

前年度は、円滑な合併を実現するため、システム・店舗の統合作業を重視し、また第4四半期には、合併効果の早期実現を図るため、店舗・要員の削減を前倒して実施いたしました。

その結果、平成20年度以降収益力が大幅に向上する体制を構築することができたと考えております。

# 進化

他方で、平成19年度におきましては、上期合併作業促進の結果として、統合費用の増加、早期退職者退職金の支払いが発生し、加えてマーケットの混乱による損失の発生等により、当初計画を下回る決算を余儀なくされました。

合併初年度における赤字計上は遺憾であり、投資家はじめ関係者皆さまにお詫び申し上げます。

また、コンプライアンス上の問題に関しましては、ご迷惑、ご心配をおかけしました点を反省とともにお詫び申し上げます。

合併2年度目に当たる平成20年度におきましては、19年度実施の合併作業前倒しにより、利益面で大幅な回復が可能な基盤が整っておりますが、加えて、きらやかホールディングスときらやか銀行を合併するなど、より効率的な組織体制を整える予定です。また、戦略地域に関しましては、ローンステーションなどの新たな店舗展開を図る予定であり、メリハリの利いた営業力強化策を講じます。

コンプライアンス体制に関しましては、リスク管理セクションと営業セクションとのより緊密な連携体制を敷くなど諸施策を講じており、一段の改善が図られるものと確信しております。

地域に根ざす金融機関として、皆さまのご期待に沿えるように更に一層努力する所存でございます。

私は頭取になってから、行員に向けて「自ら意識して行動を変えましょう。」ということをお願いしております。キーワードは『進化』です。「意識を変えること。発想を変えること。行動を変えること。自らが変わること。」という意味を込めたメッセージです。

私たちは、お客さまに満足していただけるサービスを提供するために、「お客様のニーズと競争する」という意識で行動することを目指していきます。

この『進化』の先にあるものは、冒頭でも申し上げましたが、「ふるさと山形の元気」であり、「輝き」であると信じております。それこそが私の願いでもあります。

これからも「お客様ベスト」を実践し、進化し続ける「きらやか銀行」にご期待ください。

平成20年7月

株式会社きらやか銀行  
代表取締役頭取 栗野 学